

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	都市計画道路田中笠窪線整備事業			事業番号	31-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	土木部	小川 博志	道路整備課	田中 義彦	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち		
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり		
		施策展開の方向	2	便利で機能的なまちをつくる		
		施策	31	都市の機能を高める基盤施設整備の推進		
予算事業名	都市計画道路田中笠窪線整備事業費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない		
事業開始年度	開始年度	平成14年度	～	終了年度	平成34年度	
関連法令等	都市計画法					
国・県の計画等	-		計画期間	-		
関連個別計画	-		計画期間	-		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	本路線は、災害時における災害対策本部、広域応援活動拠点及び医療拠点と市の西部地区を結ぶ防災上重要な路線であるとともに、すべての人にとって安心して安全な交通環境づくりが求められている。また、平成30年度に供用予定の新東名高速道路伊勢原北IC(仮称)と中心市街地とを結ぶアクセス道路としての機能を有する道路であり、市街地におけるネットワーク機能の向上が図られるものである。					
目的 (何をどうしたいのか)	市の西部地区から行政センター地区への交通利便性の向上と伊勢原駅周辺の交通緩和を図ることを目的とする。					
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び道路利用者					
事業内容 (手段、手法など)	・用地取得を進めるとともに、道路築造工事(L=608m)及び電線共同溝設置工事(L=550m)を実施します。					
事業行程	項目	年度				
		28年度	29年度			
	用地補償	用地取得	用地取得			
	道路工事	工事実施	工事実施			
詳細設計	(橋りょう部設計)					
目 標	【指標名】	【現状】	年度			
			28年度	29年度		
	田中笠窪線整備事業の進捗率	11.9%	50.6%	73.5%		



事業実施(Do)へ

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	平成28年度は第2期区間の用地取得等を実施し、用地取得が完了している区間については道路築造工事に着手する。 国の交付金を積極的に活用し効率的に事業を推進していく。		
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>	
		<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
	用地補償	用地取得	
	道路工事	工事実施	
	詳細設計	(橋りょう部設計)	
<b>実施した取組の内容</b>	第1期区間の道路工事(L=101.1m)及び・道路排水流末工事(L=191.1m)を実施した。 第2期区間の用地取得(A=642.85㎡)、道路工事(L=54.5m)及び橋りょう部設計を実施した。		
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状】</b>	<b>年度</b>
			<b>28年度</b>
	田中笠窪線整備事業の進捗率	11.9%	32.5%

年度		28年度 実績				29年度 実績			
<b>事業費合計 (a)</b>		177,555		千円					千円
内訳	国県支出金 ①	35,260		千円					千円
	地方債 ②	137,200		千円					千円
	その他特財 ③	0		千円					千円
	一般財源 (a)-①-②-③	5,095		千円			0		千円
<b>国県支出金の内容</b>		社会資本整備総合交付金(補助率:国5.5/10、市4.5/10)							
コスト	その他特財の内容	<b>受益者負担</b> <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		<b>前回の改定時期</b>					
		その他							
人件費	正規職員	1.8	人	15,570	千円		人		千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	1.8	人	15,570	千円		人		千円
<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				193,125	千円				千円
単位当たりコスト	対象数	市民		単位				単位	
	定義								
	対象数			101,635	人				
<b>総事業費 / 対象数</b>				1,900	円			円	

**評 価 (Check)**

<p><b>進捗状況</b> 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 計画どおり (A)</li> <li><input type="radio"/> 概ね計画どおり (B)</li> <li><input checked="" type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)</li> </ul>	<p><b>C</b></p>	<p><b>左記判断理由</b></p>	<p>事業認可区間(L=690m)のうち第1期区間(L=400m)においては、道路工事、道路排水流末工事を実施し、第2期区間(L=290m)においては、用地取得、道路工事及び橋りょう部設計を実施した。 国の交付金が要望額に対して当初9.5%であったため、市単独費の充当や二次補正を受け事業を実施した。</p>
<p><b>実施水準</b> 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A)</li> <li><input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B)</li> <li><input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C)</li> <li><input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業</li> </ul>	<p><b>—</b></p>	<p><b>他都市の事業内容等</b></p>	<p>都市計画道路田中笠窪線は、市の西部地区から行政センター地区への交通利便性の向上と伊勢原駅周辺の交通緩和を図ることを目的に市街地におけるネットワーク機能の向上を果たす路線であり、事業を実施するうえで、その目的や果たす役割から他市の道路整備水準と一律に比較ができない。</p>
<p><b>有効性</b> 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 高い (A)</li> <li><input type="radio"/> 普通 (B)</li> <li><input type="radio"/> 低い (C)</li> </ul>	<p><b>A</b></p>	<p><b>左記判断理由</b></p>	<p>用地取得や橋りょう部設計を実施したことで、道路工事に向けた準備を進めることができた。</p>
<p><b>効率性</b> 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A)</li> <li><input type="radio"/> 改善の余地がある (B)</li> <li><input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)</li> </ul>	<p><b>A</b></p>	<p><b>左記判断理由</b></p>	<p>実施内容の優先順位を精査し、国の交付金を最大限に活用し、効率的に実施した。</p>


取組の改善 (Action)へ

**取組内容の改善 (Action)**

<p><b>所属長による今後の方向性の判断</b></p>	<p><b>方向性</b> 〔選択〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続</li> <li><input type="radio"/> 見直しの上継続</li> </ul>	<p><b>事業推進上の課題</b></p>	<p>本事業は、防災上重要であるとともに、市の西部地区から行政センター地区への交通利便性の向上と伊勢原駅周辺の交通渋滞緩和を図るなど着実な事業推進が求められている。 今後、用地取得した区間の道路工事や第2期区間の用地取得などを計画的に進めていくとともに橋りょう工事に向けた準備が重要である。</p>
<p><b>次年度の取組方針</b></p>		<p>平成29年度は、引き続き用地取得などを実施し、用地取得が完了している区間については道路工事を実施する。国の交付金を活用し、効率的に事業を推進していく。</p>		
<p><b>所管部長による総評</b></p>		<p>市域の道路ネットワークの骨格である都市計画道路は、市民生活や経済活動に伴う自動車交通などを円滑に処理するだけでなく、市街地の街区を形成し都市の基盤としてまちづくりの方向性を決める重要な役割を有する。中心市街地と伊勢原北IC(仮称)とを結ぶアクセス道路としてネットワーク機能の向上が図られることから平成30年度の新東名高速道路伊勢原北IC(仮称)供用を見据え着実に事業推進していく必要があると考える。</p>		